

1面からのつづき

群馬県北毛支部

秋季善行表彰伝達式・祝賀会及び「児童養護施設への餅つき慰問」の実施

十二月二日(日)午後六時から、伊香保温泉千明仁泉亭に、秋季善行表彰を受賞された個人十一名及び皇太子殿下の御接見の栄に浴した八名を招いて、会員四十七名の出席のもとに秋季善行表彰式・祝賀会を開催した。秋季善行表彰受賞者十一名全員が明治神宮参集殿での全国表彰式に参



列したほか、伝達式にも全員が参加するなど、善行表彰に関する意識の高さが示され、改めて会員とともに受賞を祝した。島村支部長から、改めて受賞者の功労内容を紹介し、支部からの記念品を添えて表彰状の伝達を行って、併せて日頃の善行活動への謝辞と今後の活動への理解と支援をお願いした。その後、皇太子殿下御接見者を加えた受賞者

者等全員から善行活動内容、及び皇太子殿下御接見時での感想等を発表していた。和やかな祝宴となり善行活動を更に広める等、大きな成果をあげて終了した。善行表彰伝達式当日の午前中、支部発足以来継続して実施している「児童養護施設への餅つき慰問」を実施した。午前九時三十分から正午までの間、島村支部長以下会員四十五名が参加した子供たちと一緒に準備に取りかかった。施設で共同生活している子供達は現在四十九名で、いづれも「親のいない子供や親がいても親と一緒に住めない子供達」である。もう十七年を迎えたこと、子供達も「善



行会のおじさん、おばさん」と等と親しみを持ってくれていることが年々強く感じられる。米が蒸し上がると、「餅つきが始まりいしょ!」とかけ声をかけあつて、三十キロからけをたちまちつき上げた。ついた餅は、会員、子供が一緒に大福、きな粉餅、からみ餅、納豆餅などを作り、自分で作った餅を味わった。

そして益々善行の輪を広めて行きますようと閉会の辞を述べて祝賀会を終りました。

岩手県宮古支部

市長と宮古市社会福祉協議会長にご出席いただきました。また、善行会本部からの祝電もいただき本当にありがとうございます。



去る七月二十八日午前六時に会員全員に呼び掛けて浄土ヶ浜のごみ拾いをいたしました。結果的に十四名の参加でしたが、観光地のすばらしさを参加者全員で堪能いたしました。また、十一月十七日に表彰されました当支部の五名及び当会員の叙勲受章者についても、去る十二月一日に党支部で伝達式を行いました。来賓に宮古市長代理副

宮城県支部

恒例の祝賀会を開催

支部の恒例行事である祝賀会を平成三十年度の善行表彰受賞者(春季九名、秋季二十六名)と皇太子殿下の長寿善行者ご接見に招かれた六名の方々に、更に、会員に案内したところ五十一名の参加者があり、去る十二月

九日(日)正午から仙台駅前にある中華料理店において開催した。飯田支部長の挨拶から始まり本部の表彰式に出席された方とされなかつた受賞者一人一人の行為を紹介し、支部長から出席されなかつた方々に対して表彰状を伝達した。続いて顧問の県議会議員の中沢幸男様(会員)から祝辞をいただき、また、本部からと宮城県知事の村井嘉浩様(会員)からの祝メッセージが紹介、仙台市議会議員の中沢啓文様(会員)からは乾杯の音頭をいただき歓談に。間を見計らってテーブルスピーチをいただいた。途中飛入りがあったなど(ハートモニカ、紙芝居)の余稿もあり、楽しく歓談が続いた。楽しい時ほど時間の経つのは早いもので、最後に本郷泰弘副支部長が、今回表彰された皆様はどなたかに推薦されたので、これからは皆様が多なたかを推薦願います。

香川県支部

秋季善行表彰伝達式・皇太子殿下ご接見報告会並びに懇親会の開催

支部の平成三十年度秋季善行表彰伝達式を平成十二月十六日(日)午後四時から宇津町ホテルアネシス瀬戸大橋で開催し



福岡県北九州支部

平成三十年度総会並びに支部創立十五周年記念祝賀会の開催



平成三十年度総会並びに創立十五周年記念祝賀会を七月二十七日、ホテルクラウンパレス北九州で開催しました。石丸昭則副支部長の開会の言葉、支部長よりご出席の皆様並びに関係者へ記念行事開催のご指導ご協力に感謝とお礼の言葉があり、続いて来賓の紹介がありました。代表として

平成一十九年度事業報告、会計報告、平成三十年度事業計画が審議されました。平成二十九年

さが鳴りわたり支部の盛り上がりを感じた祝賀でした。最後は平川貴史様の万歳三唱、北元次治副支部長の閉会の言葉となりました。今回の十五周年記念行事を支部の大切な節目とし、今後の善行活動に活かすことを会員一同強く感じました。祝賀会となりまして、記念行事開催にご協力ご指導をいただいた皆様に感謝とお礼を申し上げます。

席で開催しました。伝達式は阿部副支部長の開会宣言・司会で始まり、鈴木支部長が挨拶の後、受賞者一人ひとり前に表彰状を読み上げ善行章と共に手渡ししました。

宮城県仙台支部

秋季善行表彰伝達式の開催

宮城県仙台支部は、支部設立二周年記念と併せて平成三十年度秋季善行表彰伝達式と祝賀会を十二月一日(日)松島町内の「松島ホテル大観荘」で開催しました。来賓五名、受賞者八名と会員十四名、計二十七名の出席がありました。

宮城県仙台支部は、支部設立二周年記念と併せて平成三十年度秋季善行表彰伝達式と祝賀会を十二月一日(日)松島町内の「松島ホテル大観荘」で開催しました。来賓五名、受賞者八名と会員十四名、計二十七名の出席がありました。

記念写真撮影後、来賓の伊藤信太郎衆議院議員、和正宗参議院議員、代理郷古局長、中山耕一県議会議長、若生裕富谷市長、佐々木心仙台市議会議長の祝辞、小野寺五典衆議院議員、村井嘉浩宮城県知事、藤倉知格県議会議長の祝電披露に続いて受賞者謝辞の後、祝宴に移り懇親を深め、長寿善行者としてご接見の栄を賜った島山副支部長の閉会の言葉で式と祝賀会が終わりました。

善行川柳

選者 東 逸平

○平成や 昭和談義が 尽きぬ夜

北海道 齊藤 勉

評「雪」がくるかと思っていれば、そうではなかったですね。投句3句の中から選びました。

○捜し物 名もなき善行 傘戻り

東京都 神鳥谷知己

評「言わんとすることは、良く分かるのですが、もっと現実的な善行に絞ってみましょう。」

○月予定 ボランティアの日を まず記入

大分県 佐藤 満洋

評「《月予定》を《予定表》としてはどうでしょう。」

評「《月予定》を《予定表》としてはどうでしょう。」

評「《月予定》を《予定表》としてはどうでしょう。」

評「《月予定》を《予定表》としてはどうでしょう。」